

古保利小学校からの報告

活動団体名： 古保利小学校 4年生

活動人数： 16人（教員2名）

取組時間： 総合の時間／古保利の自然を調べよう

調査内容 1回目：6月10日（月） 余呉川 晴れ 2回目：6月24日（月） 余呉川支流 曇り

事前に下敷きや図鑑を見ながら身近にいる生き物について考えました。また、みずすまし研修動画を一部抜粋しながら子どもたちと川に入るときの注意事項や、水生生物の取り方、観察の仕方、調査方法を事前に学習してから調査に向かいました。

講師の先生の指導の下、バケツや網、バットなどの道具を使いながら、水生生物をつかまえることができました。始めは嫌がっていた子どもも、子ども同士声を掛け合ったり、サポートしたりしながら、少しずつ一緒に活動できるようになっていきました。捕まえた水生生物は観察後、みんなで放流しました。2回目は前回の活動を生かし、水草の中や岩の裏などに目星をつけて生物調査をすることができました。前回の川に比べ、川幅が狭く、また住宅地の中だったので、子どもたちは前回よりも水生生物が取れないのではないかと予想していましたが、予想以上にたくさんの種類、数が採取できてとても喜んでいました。1本の川でも、場所によっ



て違う生物が生息していました。

調査員の感想

- ・見たこともない生き物が見られてうれしかった。
- ・あみを足でござごそするといっぱい取れることが分かった。いろいろな形の水生生物がいてびっくりした。
- ・次は自分の住む地区の川で水生生物を捕まえたい。
- ・川にいる生き物によって川のきれいさを知ることができると思いました。

捕まえた生き物たち

ヨシ、イトミミズ、ガガンボ類、赤いユスリカ、ヒル、サワガニ、プラナリア、シジミ類、カワニナ、サホコカゲロウ、ヌマエビ、ヌマエビ、コオイムシ、タイコウチ、ナベブタムシ、サカマキガイ、ヤゴ（ハグロトンボ、アカトンボ、シオカラトンボ）、アブラボテ、ドジョウ、ドンコ、ヤリタナゴ、ヨシノボリ、ヌマチチブ、カワムツ



調査のまとめ

- ・1つの川にたくさんの生き物がいるんだと分かりました。
- ・場所によって、いる生き物の種類が全然違うんだと思いました。
- ・そこらへんの川にあんなに生き物がいるなんて知らなかったです。
- ・CODで測るときれいではない水なのに、きれいな水に住む生き物がいることにびっくりしました。
- ・川上に田んぼがあって、雨などによってその水が流れてくると、一緒に田んぼに住む生き物も流れてきて、川に入ってくるのを初めて知りました。
- ・水のきれいさも水の量も流れも自分には同じに感じられたが、場所によってとれるものや種類が違うんだということに驚きました。
- ・1回目よりも2回目の方が道具を使うコツを掴めてたくさん採れたし、1回目にたくさん採れた場所の条件を思い出して今日の川ではどこに生き物がいてそうか予想しながら活動できました。

活動の様子

【生き物がいそうな場所を探す子どもたち】



【先生のアドバイスを聞き、足で生き物を網の中へ】



【つかまえた生き物を下敷きと見比べる】



【見つけた生き物をもとに川の様子をまとめる】



【生き物がいそうな場所に見当をつけて探す子どもたち】



【浅いところは生き物をつかまえるのがむずかしかったです】



【つかまえた生き物がなにか調べます】



【網に入った生き物だけをバットに移します】

